



8/1(土)～8(土)…8:30～16:30 (土曜日は14:30 閉館)

8/9(日)～18(火)…夏休みのため休館

8/19(水)～8/24(月)…8:30～16:30 (土曜日は14:30 閉館)



INFORMATION

ご協力ありがとうございました!!

7/25(土)～31(金)蔵書点検の為臨時休館しておりましたが、8/1(土)より8:30～開館しております。みなさんのご利用心よりお待ちしております。



期間限定『川端康成』特集!

日本で初めてノーベル文学賞を受賞した川端康成は茨木市出身って知ってましたか?

「茨木市立川端康成文学館」の紹介と作品を雑誌コーナー横に展示しています。夏休みに(短いですが)訪れてみては?



高校生でも取れる資格特集!!

英検、漢検、TOEIC など有名どころの資格はもちろん、**学歴不問の資格**はたくさんあります。今回は**挑戦しやすい難易度低め**の資格を中心に問題集をご紹介します。入口右手の**新刊本コーナー**をチェックしてみてくださいね。



ちょっと時間があつたら何する?
通学途中、待ち合わせ、勉強のひとやすみ
etc…

スマホをついつい見ちゃいますが、スキマ時間に読書もいいものです。今月は電車で一駅分程の長さでストーリーが一つ読めてしまう短編集をご紹介します。(個人差があります)



●まずは定番! 5分後シリーズ!

5分程度の時間で読めて、ラストにはあっと驚く意外な結末が! 朝読にも最適な、ショートショートを集めたアンソロジー。



- 『5分後に意外な結末①赤い悪夢』
- 『5分後に意外な結末②青いミステリ』
- 『5分後に意外な結末③白い恐怖』
- 『5分後に意外な結末④黒いI-E7』
- 『5分後に意外な結末⑤黄色い悲喜劇』
- 『5分後に意外な結末 パンドラの赤い箱』
- 『5分後に恋の結末 春が来たら、泣くかもしれない』
- 『5分後に恋の結末 解けない謎と放課後の密談』
- 『5分後に恋の結末 友情と恋愛を両立させる3つのルール』
- 『5分後に思わず涙。青い星の小さな出来事』
- 『5分後に思わず涙。世界が赤らむ、その瞬間に』

/学研教育出版



『5分後に戦慄のラスト』
エブリスタ編/河出書房新社
5分で心を動かす超短編小説をテーマごとにまとめたシリーズ。隙間を覗かずにはいられない男を描く「隙間」など、怒濤の恐怖体験11作を収録。小説投稿サイト『エブリスタ』掲載に加筆・修正して書籍化。

『5分後に涙のラスト』もあります。

アンソロジーとは…さまざまな芸術分野において特定のテーマでまとめられた作品集のこと。



●ショートショートと言えば…

『おのぞみの結末』 星新一/新潮文庫



家事万能のロボットを手に入れたら…。世界平和をめざす秘密組織が実権を握ったら…。超現代のなかでも、あいかわらず滑稽で愛すべき、人間らしい心の動きをスマートに描く全11編。

他にも多数、星新一作品あります!

～こんなものもあります～

『ショートショートの広場』 星新一 編/講談社文庫

かつて星新一が開催していたショートショート・コンテストの受賞作が集められた作品集。いわばアマチュアの作品集なのですが、プロと何ら遜色なく、むしろ遥かに凌駕している作品も。とにかくバラエティに富んだ一冊です。

『ショートショートの広場』 阿刀田高 編/講談社文庫

阿刀田高 編もあります。

●恋の話も…

『コイノカオリ』 角田光代 他著/角川文庫



どんな恋にも、その時だけの特別な“カオリ”がある。柔らかく心を浸す恋の匂いをテーマに、今、一番鮮烈な“恋の描き手”たちが集う。6人のラブストーリーテラーが供する、せつなさのスペシャリテ。

『最後の恋』 阿川佐和子 他著/新潮社

『最後の恋 MEN'S』 朝井リョウ 他著/新潮文庫

『恋の聖地』 原田マハ 他著/新潮文庫

●カフェで読みたい!!

『3分で読める! コーヒーに読む喫茶店の物語』

『このミステリがすごい!』編集部 編/宝島社文庫



喫茶店にまつわるショートショート・アンソロジー。海堂尊「「愚痴喫茶」顛末記」、岡崎琢磨「フレンチプレスといくつかの嘘」、佐藤青南「おみくじ器の予言」など、3分で心揺さぶられる25作品を収録する。

『3時のおやつ』 平松洋子 他著/ポプラ文庫

『和菓子のアンソロジー』 坂木司 他著/光文社文庫

●こちらもおすすめ…

『コーヒーと楽しむ心が「ホッと」温まる50の物語』 西沢泰生/PHP文庫



カフェオレと楽しむ「心が和らぐ優しい話」、エスプレッソと楽しむ「深い話」…。コーヒーが冷めないうちに読み切ることができるショートストーリー。疲れた心に効く真実の物語50を収録する。

『1日10分のしあわせ』 朝井リョウ 他/双葉文庫

『1日10分のごほうび』 赤川次郎 他/双葉文庫

夏と言えばホラーでしょ…

今年も新旧あわせて

揃えてみました。



第22回日本ホラー小説大賞を受賞した『ぼぎわんが、来る』をはじめ、澤村伊智の超ド級エントメホラーをお楽しみ下さい…



『ずうのめ人形』 『ししりばの家』

『などらきの首』

澤村伊智/角川ホラー文庫

『ぼぎわんが、来る』は2018年に岡田准一主演で映画化されました。

『よもつひらさか』 今邑彩/集英社文庫

『巷説 百物語』 京極夏彦/角川文庫

『夏と花火と私の死体』 乙一/集英社文庫

『営繕かるかや怪異譚』 小野不由美/角川文庫



雨の日に鈴の音が鳴れば、それは怪異の始まり。袋小路に佇む喪服姿の女を、決して家の中に入れてはいけない。「雨の鈴」など、住居にまつわる怪異を営繕屋・尾端が鮮やかに修繕する全6篇を収録。宮部みゆきの解説付き。

『黒い家』 貴志祐介/角川書店



まだまだあるよ。見に来てね